



DISTRICT 2650

# KASHIHARA

ROTARY CLUB WEEKLY

<http://kashihara-rc.jp/>



2022-23年度 地区スローガン

感動、感激、そして感謝

創立	昭和32年4月19日
会長	平田博也
会長エレクト	辻田真海
副会長	松井大典
幹事	尾上隆志
公共イメージ	島田昌則



### 事務局（例会場）

橿原市久米町652-2 THE KASHIHARA 4F  
 TEL/0744-28-2801（直通）  
 FAX/0744-28-2802  
 E-mail/krc@jeans.ocn.ne.jp  
 TEL/0744-28-6636（ホテル）

### 例会日

金曜日  
 12時30分～13時30分

Vol. 65 No. 27 (2021-22)  
 2022(令和4)年7月1日発行

## 第3117回例会報告書

2022(令和4)年6月24日

司会 副SAA・安永吉伸会員  
 R.song 我ら日本のロータリアン  
 ソング・リーダー 宇田麻衣子会員

### ゲスト

橿原 RAC 次年度会計 高木孔規さん

### 出席報告

会員 59名  
 (6/24) 出席者 42名 出席率 76.36%  
 (6/17 補正) " 37名 " 66%

### ニコニコ箱

- ◎本日欠席となりますこと、申し訳ございません。お陰様で無事1年間を会長として勤めることができました。ありがとうございました。  
 ……………森川善隆会員
- ◎1年間ありがとうございました。  
 ……………理事・役員一同
- ◎この度、勝手ながら退会させていただきます。橿原 RC に約36年在籍させていただきました。長きにわたり皆様方にお世話になり、ありがとうございました。橿原 RC の益々のご発展と、会員の皆様方のご多幸をお祈り致します。ありがとうございました。  
 ……………中川一郎会員
- ◎グランドマンスリー ハンデに恵まれ優勝しました。  
 ……………羽根史朗会員
- ◎森川会長、河村幹事、1年間お疲れ様でした。  
 ……………辻田真海会員・尾田肇睦会員
- ◎結婚記念日お祝い 島田昌則会員 (6/5)

### 会長挨拶

<代理：辻田真海副会長>  
 ◎本日、2021-22年度最終例会となり、一年間クラブ運営にご尽力された森川会長がこの場に立ってご挨拶できないのは、さぞやご無念のことと存じます。

森川会長のご尽力に敬意を払い、会長代行として一言ご挨拶申し上げます。

私は、宗教家のはしくれとして、お釈迦様の教えを引用させていただきます。

お釈迦様は「諸行無常・諸法無我」をお説きになりました。「諸行無常」は、平家物語の冒頭にも書かれていることもあり耳なじみがあると思いますが、世の中のあらゆるものは絶えず変化し続けている。同じ状態のものは何一つなく、全てが無常の存在であることを説いています。頭では分かっている、なかなか意識がついていかないことがよくあります。「昔は良かった」という思いになるのも、変化についていけないからかもしれません。また「諸法無我」とは、全てのものごとは因と縁によって成り立っている。他と関係なしに独立して存在するものなどなく、自分の命・健康・財産は自分のもののように思っていますが実はそうではなく、世の中のあらゆるものは全てお互いに影響しあって存在しています。自然現象と同じく、絶妙なバランスの上になりたっているのです。

ロータリー活動もこの教えどおり、1年ごとに役割を変え変化しながら、会員・地域社会がお互いに影響を与えながら成長しているのではないのでしょうか。その中で昨年度に引き続き、今年度もたくさんのお新入会員が入会し拡大を続けると共に、コロナ禍でありながらも、例会や行事を進めてこられたことに頭が下がります。森川会長、河村幹事の一年間のご努力に感謝申し上げ、今年度最終例会を過ごしたいと思います。



### 委員会報告

- ◎出席・ニコニコ箱・ソング委員会：尾上隆志委員長・皆出席記念品の贈呈  
 尾田肇睦会員・尾上隆志会員・河村善一会員・高橋 靖会員・仲谷 登会員・平田博也会員・

四つのテスト ①真実かどうか ②みんなに公平か ③好意と友情を深めるか ④みんなのためになるかどうか

増田善昭会員・松井大典会員・森川善隆会員・  
安永吉伸会員・山川 賢会員 (以上 11 名)  
おめでとうございます。



○榎原 RAC 次年度会計 高木孔規さんよりご挨拶

本来であれば会長の小川がご挨拶をさせて頂くべきところですが、代理でご挨拶をさせていただきます。

私は昨年 7 月に仲谷 RA・IA 委員長にお誘い頂いて入会し、この 1 年で創立 40 周年記念式典をはじめ、飛鳥学院でのイルミネーション事業などいろいろなことを経験させて頂きました。今年度は年度途中で会長が交代するという事態もありましたが、無事 1 年間走り切ることができましたのは、ひとえに榎原 RC の皆様の温かいご支援があつてのものとして榎原 RAC 一同感謝しております。ありがとうございます。今年度で 3 名が卒業し、人数が減ってしまいますが、少数精鋭でより一層面白い例会、より一層面白いクラブ運営をしていこうと考えています。引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



○野球同好会：吉田浩巳会員

・全国 RC 野球大会開催について

いよいよ来週、3 年ぶりに甲子園にて開催されます。試合は 6 月 29 日 (水) 第 3 試合、対戦相手は富山県小矢部中 RC で、かなりの強豪だそうです。同好会として 6 月 27 日 (月) 19 時から白檀中学校にて、米田会員の会社の野球チームの方と練習をさせていただきます。なお、今年はコロナ禍の影響で、前夜祭 (打ち合わせ会) は人数制限があり、代表して米田会員、吉川会員のお二人にご参加頂きます。お時間のある方は試合の応援にお越し頂ければと思います。よろしくお願い致します。



○次年度 SAA：井上輝好会員

・次年度 SAA からのお願いとお知らせ

年度開始前ではございますが、本日皆様にポスティングさせて頂いております「SAA からのお願いと

お知らせ」につきまして、例年通りではありますが、次年度より変更となる点についてお伝えさせていただきます。

今年度は、例会前日 (木曜日) の正午までに欠席届をご提出頂いていましたが、ホテル側の都合により、次年度からは例会の前々日 (水曜日) の正午までに欠席届をご提出頂きますようよろしくお願い致します。

また、今年度は新型コロナウイルス感染防止を理由に欠席される場合は出席扱いとなつていましたが、感染も徐々に落ち着きつつあるので、次年度より、新型コロナウイルス感染防止を理由に欠席される場合は出席扱いとはせず、欠席となりますのでご了承頂きますようよろしくお願い致します。新しい欠席届の用紙も合わせてポスティングさせて頂いておりますので、ご欠席される場合は FAX・メールまたは電話で、必ず例会の前々日 (水曜日) の正午までにご連絡頂きますようよろしくお願い致します。



卓 話

「クラブ・フォーラム (総括)」  
—Club Forum : Summary—

【会計 増田善昭会員】

本年度、クラブ資金は比較的健全な状態を維持できていますが、それは一方で新型コロナウイルス蔓延下により消極的にならざるを得なかった活動の停滞による結果かもしれません。また、ここ数年にわたる経費等の見直しも少なからず寄与しています。一方、収入面においては会員数の増加による収入増も寄与し、他財源からの繰り入れもなく、収支は順調に推移致しました。

近年多くの入会者があつたため外部への奉仕活動よりもクラブ内の活動に重きを置き、他クラブよりも例会等の休会は非常に少なく、親睦会等の会員同士の触れ合う機会も大きく減らすことなく、予定どおり積極的に行われました。今後も引き続きこの方針を維持しながら外部への活動もより積極的に行われるものと考え、予算面への配慮も必要かもしれません。

今後の予算配分としては会員増強も順調に進むことが見込まれますので、過去からの慣例を意識せず会費等の見直しも必要かもしれません。一方、会員がより高いロータリー精神の理解や研鑽、また自身の起業家として必要な素養の向上の助けとなるような活動 (教育研鑽プログラム、地区への出向、また趣味の会活動も含む) にも予算配分を含めた検討が必要になってくるものと考えられます。





### 【SAA 高橋 靖会員】

本年度は出欠の明確化によるフードロスに取り組み、おおよそ目標の7割を達成しました。この実績は全て、安永副SAA、そして尾上委員長が率いる出席・ニコニコ箱・ソング委員会の委員の皆様のおかげです。ありがとうございました。



### 【奉仕プロジェクト常任委員会 平田博也委員長】

今年度の奉仕プロジェクト常任委員会の6委員会の活動について報告致します。

まず職業奉仕委員会では2022年3月26日(土)近鉄大和八木駅、橿原神宮前駅に置き傘を設置する事業を行いました。何度か確認したところ、傘立てから数本なくなっていたので有効に活用して頂いている状況です。次年度も継続事業として社会奉仕委員会担当で行う予定をしています。

社会奉仕委員会では、奈良県立医科大学附属病院に地区補助金を活用して、2021年10月21日(木)に新型コロナウイルス対策支援事業を行い、壁掛けテレビ1台、掛け時計3台、マスク500枚を寄贈しました。また、昨年度からの引き継ぎ事業として、日程の変更はありましたが、2022年5月15日(日)晴天の中で子供達やフットサルチーム等の多くの参加者のもと、デフサッカー教室が青少年奉仕委員会と共催で盛大に開催されました。

青少年奉仕委員会では、2022年5月20日(金)～22日(日)京都市右京区にある花園会館にて地区事業であるRYLAが行われ、当クラブからはメンバーの社員1名が参加しました。

国際奉仕委員会においてはコロナ禍の状況により、例会の日程変更等により学習会を行うことが困難でした。また、国際大会においても上記の事情により参加できませんでした。

米山奨学委員会では、会員一人当たり29,254円(地区目標24,000円)寄付の達成と、奨学生グォン・ティータイン・ヒュオンさんによる卓話により、米山奨学会への理解を深めて頂きました。4月より奨学生 史夢華さんを迎えています。引き続き支援とご理解をお願い致します。

ローターアクト・インターアクト委員会では、12月に橿原 RAC により飛鳥学院へイルミネーションを設置、寄贈し点灯式を行い、施設の子供達に喜んで頂きました。橿原 RAC 創立40周年記念式典は時期を変更し、2022年4月30日(土)に THE KASHIHARA にて人数制限を行い、オンラインとのハイブリッド形式で式典を行いました。橿原学院高校 IAC は子ども食堂への支援を行いました。ローターアクト・インターアクト共に会員数が減っており、増強が必要です。



その他、各委員会がコロナ禍の中で、中止となった事業や思うような活動ができなかった委員会もありましたが、試行錯誤し、活動を行って頂きました。

次年度へ繋がることを期待しています。

### <職業奉仕委員会 堀部光志委員長>

ロータリー活動の基本ともいえる4つのテストを広く知って頂くために、ロータリーロゴと4つのテストをプリントした傘を作成し、近隣のハブ駅とも言える近鉄大和八木駅・橿原神宮前駅中央改札口近くに設置しました。少し未返却があるものかなり利用して頂いているようです。今後は橿原神宮前駅 西改札・東改札前も検討してもらってもよいのでは・・・

今回は予算の関係もあり青地に金文字のロゴでしたが、女性なども利用しやすくするため、いろいろな色の傘を制作しても良いのでは・・・

### <社会奉仕委員会 中谷昌紀委員長>

#### 【新型コロナウイルス対策支援事業】

(実施場所) 奈良県立医科大学附属病院

新型コロナウイルス治療の最前線で奮闘する医療従事者に感謝を伝えようと、テレビ、掛け時計やマスクを寄贈しました。結果、新型コロナウイルス感染症の早期終息と地域医療を支えることで、地域の方々に安心感をもたらしました。また、病院を利用する方々、職員の方々の利便性の向上が図れたことにより、橿原 RC の活動を地域の方々に知って頂きました。

#### 【デフサッカー体験】(実施場所) 天理市 親里競技場

まん延防止等重点措置の解除に伴い、5月15日(日)に開催する運びとなりました。デフフットサル日本代表監督を招聘し、デフサッカー体験を通じて障がいへの理解を深めていき、健常者と障がい者との境目を無くしていくこと、またデフサッカー大会を通じて海外での貧困問題にも目を向け、アフリカへ寄付球を送ることを目的としました。結果、地域の児童または親が多数参加し、有意義な1日を過ごして頂き、また事業目的および事業内容もご理解頂きました。

#### 【クリーンアップならキャンペーン】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

### <国際奉仕委員会 吉田浩巳委員長>

コロナ禍の影響を受けて、当初予定の事業ができませんでした。

### <青少年奉仕委員会 松井大典委員長>

コロナ禍により、現場に参加者を募って行う事業の実施はできませんでした。With コロナの時代に合った活動を生み出すことができなかったことは深く反省しています。

社会奉仕委員会が実施したデフサッカー教室には、多くの子供もたちが参加することから、受付等の業務に協力させて頂きました。

RYLA (ロータリー青少年指導者養成プログラム) には、当クラブ会員の経営する企業より1名参加して

頂き、青少年が新しい友をつくり、異業種の若者達と交流しながら、リーダーシップのスキルを学ぶ機会を設けることができました。

#### 【米山奨学委員会 菅生康清委員長】

2021年10月1日の例会において、グオン・ティータイン・ヒュオンさんに卓話をして頂きました。また会費で米山の寄付金を集めるとともに、10月の米山月間において寄付金を募り、寄付額は、普通寄付295,000円、特別寄付1,431,000円、合計1,726,000円となっています。

また本年度の認証者は、米山功労者9名、準米山功労者7名となり、クラブとして2021年11月に米山記念奨学会より「第66回米山功労クラブ」の感謝状を頂いております。会員の皆様のご協力の賜物と感謝しています。

グオンさんは2022年3月で卒業となり、辻村敦史会員のグランソール奈良に就職されました。4月からは新しく史夢華さんを迎え入れています。

5月22日に近鉄百貨店橿原店の福寿館で、グオン・ティータイン・ヒュオンさんの送別会と、史夢華さんの歓迎会を合わせて行いました。当日は豊田会員、野口会員 当委員会メンバーに加えて、河村幹事、平田次年度会長、尾上次年度幹事、密門次年度委員長、中垣内次年度カウンセラーが集まり、大変にぎやかで和やかな雰囲気でした。

#### 【RA・IA委員会 仲谷 登委員長】

RACは、今季前半は新型コロナウイルス感染拡大により休会を1度致しましたが、オンライン例会を含め23回の例会を実施しました。4月には、橿原RAC創立40周年の式典を盛大に執り行うことができ、ロータリアンの方々もたくさんご出席賜りました。各委員会においては、講師をお招きし講話をして頂き、また絵本をフィリピン語に翻訳し、現地に送付致しました。飛鳥学院にはクリスマスイルミネーション等のプレゼントをさせて頂きました。国内外研修では福岡・台湾とのオンライン交流会に参加しました。献血事業に取り組む等、橿原RAC会員が協力し合い、いろいろな活動ができたように思います。本年度の会員7名の内、3名が卒業致しますが、7月に1名入会予定です。よって次年度スタート会員数は5名となります。

IACは、新型コロナウイルス感染拡大により活動が制限されたものの、引き続き子ども食堂への支援を行いました。

#### 【クラブ管理運営常任委員会 辻田真海委員長】

年度当初は、コロナ禍もまだまだ見通しが立たない状況でしたが、森川会長所信「新旧会員の融合による更なる結束とコロナからの迅速な反転攻勢を」とおり、クラブ管理運営常任委員会管轄の親睦活動委員会、プログラム委員会、出席・ニコニコ箱・ソング委員会の方々による的確かつ円滑な委員会活動により、会員相互の親睦を深め活発なクラブ活動ができました。コ

ロナ禍も落ち着きつつある今日、with コロナへの対応もスムーズに行われつつあると思います。

#### ＜親睦活動委員会 安永吉伸委員長＞

本年度は、昨年コロナ禍で開催を見送りました納涼例会と望年親睦家族会を森川会長の熱い想いのもと感染対策を取りながらではありましたが、盛大に開催することができました。納涼例会はオリンピック開催の年でもあり、松田会員のトリオダイナーでパブリックビューイングをしながら楽しく開催することができました。望年親睦家族会は地元のJWマリオット・ホテル奈良でご家族と共に管弦カルテットの演奏を聴きながら盛大に開催できました。一泊例会は岩手・盛岡でわんこそばを体験し、翌日青森・恐山を目指す2県に渡る旅となりましたが、ご参加頂いた皆様にとっては日頃体験できない楽しい旅になったかと存じます。

南輪会の開催はコロナ禍のため次年度へ再々延期になりました。

郡山安積RCの訪問を受け急遽担当をさせて頂きましたが、3年ぶりにお会いするのでサプライズの演出を交えて懇親を深めることができました。

最後にご協力頂きました関副委員長はじめ、委員会メンバー皆様、本当にありがとうございました。楽しく1年間委員会をすることができました。感謝致します。

#### ＜プログラム委員会 密門裕範委員長＞

今年度はコロナ感染拡大防止のため休会があり、なかなか計画通りには進めない面がありましたが、当委員会担当例会が多くとってありましたので、柔軟に対応できたかと思えます。

また担当例会では新旧会員の相互理解を深めるために多くの会員の方にご意見・ご発言を頂きスムーズな例会進行ができましたことを感謝しております。

#### ＜出席・ニコニコ箱・ソング委員会 尾上隆志委員長＞

本年度は、SAAと共に出席率の向上並びに出席確認の徹底を図るべく取り組みを行いました。

結果として、以前より無駄となる食材の軽減に努めることはできましたが、事前の出欠を完全に把握するまでには到りませんでした。また、当委員会は新入会員の皆様に所属頂くことから、最終的には18名の大所帯の委員会となりました。新入会員の皆様が率先して受付業務を行って下さることから、会員の皆様と打ち解けるのにも時間を要さず、入会の時期を問わず、すぐに橿原RCファミリーとなって頂いたことには感謝申し上げます。ニコニコ箱では、ベテランの山川さんが毎例会 誰よりも早く会場入りをされ、会員の皆様の祝い月等々において、会員の皆様よりニコニコを頂いて下さいました。ソングや出席率の発表においても、当委員会メンバー全員が経験をして頂くこともできました。新人の皆様には次年度、本年度の経験を活かし、さらに飛躍したご活躍を期待致します。

次年度への申し送りですが、会場受付はメンバーも

含め来場者が当榎原 RC 例会に最初に接触する「窓口」となります。最初の印象や雰囲気、その後大きく影響を及ぼすこともあり、またさまざまな思いや考え、悩みもある中で、「例会に参加して良かった」、「元気が出た」と、感じて頂ける雰囲気を醸し出すことも重要かと考えます。いつも明るく、元気な榎原 RC であるために、受付では来場されるすべての方に必ずお声がけを行って頂きたいと考えます。

#### 【会員増強・ロータリー財団・公共イメージ常任委員会 米田常彦委員長】

本年度の森川会長の所信通りコロナによる逆風を押しよけて、敏速に果敢に反転攻勢をかけられた一年であり、担当の各委員会がしっかりと実行、実践して頂けたと感じます。

会員増強委員会は、新入会員を9名増強し内4名が女性という離れ技を行い、これは、今後のクラブの活気、元気につながると確信します。新入会員20名による『榎原ロータリーアカデミー』を1月からですが計3回行い、大きな成果と結果を創り上げました。今後、次年度も継続ということで嬉しい限りです。

ロータリー財団委員会は、中林隆男委員長の頑張り、と孤軍奮闘で地区の一人当たりの目標額（年次基金寄付1人当たり180ドル、ポリオプラス寄付1人当たり30ドル）を達成して頂きました。また『榎原ロータリーアカデミー』第1回で「ロータリー財団と寄付金について」でご講演も頂きました。有難うございました。

最後に公共イメージ委員会は、榎原 RC のホームページやフェイスブックを活用して頂き、特にフェイスブックは、フォロワー数が144名に増え、大きな成果を上げてくれました。また委員長を中心に委員会もよくまとまり良い一年間だったようです。

#### <会員増強委員会 吉川弘晃委員長>

年度初めの計画では65周年にちなんで65名を目標にしておりましたが、退会された方もおられまして65名にはなりません。しかし、今年度は新入会員が9名入会されました。委員会活動は、毎月ほぼ20日前後に開催し、メンバーと意見交換をして参りました。

今年度の目玉として『榎原ロータリーアカデミー』と命名した勉強会を開催致しました。前年度、今年度入会の新入会員の皆様方に対して勉強会、懇親会を開催して参りました。第1回はTHE KASHIHARAにて、第2回は京都での地区大会にて、第3回は榎原神宮 養正殿と今年度3度の勉強会を開催致しました。

副委員長及び委員会メンバーと会員増強委員会担当副会長及び榎原 RC 全員の力でできた結果だと思えます。皆様方ありがとうございました。

会員増強は、毎年の永遠のテーマです。やり続けることが大切です。

次年度 河村善一委員長、次年度も増強よろしくお願ひ致します。

#### <ロータリー財団委員会 中林隆男委員長>

今年度は会員増強委員会の皆様の頑張りにより、多くの新入会員が入会されたこともあり、11月のロータリー財団月間には地区補助金委員長の木下哲次氏に卓話をお願いし、ロータリー財団の基本的な活動や地区補助金制度について、皆様にロータリー財団の理解とご協力をお願いしました。

当クラブは地区の一人当たりの目標額（年次基金寄付1人当たり180ドル、ポリオプラス寄付1人当たり30ドル）は会費より頂いている状況です。ご協力に感謝致します。

実績は

- ・年次基金寄付 10,620 ドル (1,202,310 円)
- ・ポリオプラス寄付 1,770 ドル (200,385 円)

認証者は

- ・マルチプルポールハリスフェロー 7名
- ・ポールハリスフェロー 1名

地区補助金を利用した活動は奈良県立医科大学附属病院にマスク・テレビ・掛け時計を寄贈。また、前年度地区補助金事業の障がい者サッカー教室の実施もできました。

次年度への申し送り事項として社会的ニーズの強い奉仕事業の調査・検討を行い、地区補助金を活用し実施して頂きたいと思ひます。

#### <公共イメージ委員会 豊田博樹委員長>

今年度の基本方針であります、榎原 RC のホームページやフェイスブックを活用し、積極的に広報活動を行い、クラブに対する理解と公共イメージ向上を図って参りました。

主な活動と致しましては

- ・2021年7月 森川善隆会長、河村善一幹事、豊田博樹公共イメージ委員長の3名で奈良新聞社を表敬訪問。
- ・7月 森川善隆会長、河村善一幹事、仲谷 登 RA・IA 委員長、西尾兆司 RA・IA 副委員長の4名で「榎原 RAC 所信表明例会」に出席。
- ・7月 奈良新聞社 中南和支社より、支社長 柴田誠彦氏が例会にご出席、例会の様子が掲載された。
- ・10月 奈良県立医科大学附属病院にて、マスク・壁掛けテレビ・掛け時計の贈呈式を実施。当クラブからは森川善隆会長、河村善一幹事、中谷昌紀社会奉仕委員長、尾田肇睦社会奉仕副委員長、山田善紀公共イメージ委員の5名が出席。
- ・2022年3月 近鉄榎原神宮前駅及び大和八木駅に、無料貸し出し傘を設置。設置には河村善一幹事、平田博也会長エレクト、堀部光志職業奉仕委員長が出席。

これらの活動につきましては、榎原 RC のフェイスブックに掲載し、奈良新聞にも掲載されました。

フォロワー数も144名と増えました。他クラブから



のフォロワーの方が多く、樫原 RC を幅広く知って頂けたと思います。

次年度も引き続きホームページやフェイスブックなどを活用し樫原 RC をたくさんの人に知って頂けたらと思います。

### 【長期計画委員会 森川善隆委員長】

- ・会員拡大は永遠のテーマです。会員拡大は一定の成果がありました。引き続き長期的な取組が必要です。
- ・今後の活動方法は、年度事業計画に沿って遂行する必要があります。

## 「会長・幹事退任挨拶」

＜会長 森川善隆会員＞（代読：河村善一幹事）

2021-22 年度最終例会にあたり一言ご挨拶申し上げます。

まず、私の体調不良により一泊例会以降、本日も例会に出席しておらず、皆様にご迷惑をお掛けしておりますことをご詫言申し上げます。一年間の総括を河村幹事に託します。

本年度は「新旧会員の融合による更なる結束とコロナからの迅速な反転攻勢を」をテーマにあげました。

まずは、今年度も9名の新たな会員を迎えることができました。私は当初の「会長所信」で、シェカール・メータ RI 会長の「特に『女子のエンパワメント』が焦点になる」とのメッセージをご紹介して、女性会員の増強を今年度の重点目標としました。新入会員9名のうち4名は女性で、もうすっかり当クラブに馴染んでいて、平田年度でも存分に活躍して頂けると確信しておりますが、来年当クラブ初の女性会長となられる辻田年度においては、さらに輝きを増して当クラブの多様性を高めて頂けると期待しています。

これから先もずっとこの9名は同期という関係性が続きます。2020-21 年度に入会された12名とともに新しい風を吹かせて下さい。

「新旧会員の融合」を図るため、先の21名を対象に「樫原ロータリーアカデミー」も創設して頂きました。計3回の開催で先輩会員からご講義も頂き、新会員のロータリーへの理解や旧会員との親睦も深まったと思います。

事業については、年度が始まる前に「ジュニアサマースクール」は断念致しましたが、「会長所信」であげたものは、各委員会の皆様のお力で全て実行することができました。

コロナで延期となっていた2020-21 年度地区補助金事業である「障がい者サッカー教室」は「デフサッカー教室」として、社会奉仕委員会と青少年奉仕委員会の共同で開催されました。大勢の委員会メンバーにもご参加頂きました。今年度の地区補助金事業はコロナ禍で奮闘する奈良県立医科大学へのマスク等の寄贈を行いました。当クラブの元名誉会員である吉岡先生にもご協力頂き、改めて樫原 RC の人脈や伝統を感じま

した。

職業奉仕委員会では、近鉄樫原神宮前駅と大和八木駅の改札に置き傘を設置頂きました。覚書の作成や近鉄との交渉には大変ご苦勞されたかと思います。お疲れさまでした。

国際奉仕委員会は、こういうご時世でしたので、国際大会もなく残念でした。

米山奨学委員会の皆様、またカウンセラーのお二人には、ヒュオンさんや史 夢華さんの面倒をきめ細かく見て頂きました。お陰で奨学生の2人とも多分楽しく例会に参加頂けたと思います。

今年創立40周年を迎えた RAC は、コロナ禍ではありませんでしたが周年行事やイルミネーション設置など積極的に活動を行って頂きました。RA・IA 委員会には、ローターアクトとインターアクトのバックアップ、お疲れさまでした。

親睦においては、納涼例会や親睦家族会、私は残念ながら出席できませんでしたが、一泊例会そして郡山安積 RC をお迎えしての先週の例会など、親睦活動委員会のメンバーの方々には大変お世話になりました。どれも記憶に残る楽しい会でした。

同好会では、甘樫会では羽根会員 グランドマンズリーおめでとうございます。先日理事会にて新たにドライブ・ツーリング同好会が発足しました。これからも各同好会が活発に活動されますことを祈念致しております。

運営面では、まずは米田副会長、辻田副会長、多くの場面で代役を引き受けて頂き、ありがとうございました。

プログラム委員会では、コロナ等で急なプログラム変更にご対応頂き、助かりました。パネルディスカッション形式の卓話も新鮮でした。

11月のロータリー財団月間では、ロータリー財団委員会にもお世話になりました。

出席・ニコニコ箱・ソング委員会は会員増強に伴い大所帯となり、受付のテーブルが常に3～4人座る華やかな場所となりました。

公共イメージ委員会と昨年の7月9日に奈良新聞社を表敬訪問してからもう一年が経とうとしています。思えばあれが一番最初の仕事でした。委員会の皆様、一年間お疲れさまでした

理事・役員の皆様、円滑な理事運営にご協力頂き、未熟な会長・幹事を支えて頂きましてありがとうございました。

全ての会員の皆様のお陰でつつがなく、楽しく一年間を会長として務めることができました。本当にありがとうございました。

最後に、次年度平田会長の下で、樫原 RC がさらに発展しますことを祈念致しまして挨拶に代えさせていただきます。



## ＜幹事 河村善一会員＞

幹事就任前に諸先輩方から、幹事になったらロータリーのことについてよく分かるようになる、と教えて頂きました。まさにその通りでこの一年はロータリーについて本当によく勉強させて頂きました。

幹事だからこそ確認できる書類があり、幹事だからこそできる仕事があり、失敗もたくさんしましたし、行き届かないところも多々あったと自覚しております。今思えば「あーしとけば良かった」と思うこともたくさんあります。

しかし、私にとって一番の収穫は、幹事だからこそ大勢の方とお話をさせて頂くことができ、親密になれたと思えることです。今やロータリーは私の居場所となりました。

先ほどの会長挨拶の中で数々の事業や運営についての総括がありましたが、事業や運営の裏で委員長をはじめとする役職の方々が、責任感とロータリー愛を持ってリーダーシップを発揮しながら、懸命に動かれていたのを、幹事として身近に拝見することができました。日を追って、私も皆さんのお役に立たなければという気持ちが増してきたように思います。

森川会長には先日、「よくやってくれた」と労いのお言葉を頂きました。就任挨拶で申し上げた本田技研工業の本田社長が退任時に藤沢副社長に「まあまあだな」と呟いたのと同義であると受け取りました。森川会長にも感謝致します。

会員皆様のお陰を持ちまして、本日最終例会を迎えることができました。この場をお借りしまして、皆様に感謝の気持ちをお伝えします。

ありがとうございました。



## 乾杯の発声

### 【中井康允会員】

皆様こんばんは。高いところから失礼致します。

本年度は素晴らしいクラブ運営をして頂き、こうして最終例会を迎えることができました。皆様には楽しく本日の最終例会をお過ごし頂きたいと思ひます。乾杯！



～手に手つないで～

### 【例会ご案内】

7月8日(金) <第2例会>

フォーラム

(奉仕プロジェクト常任、クラブ管理運営常任、  
会員増強・ロータリー財団・公共イメージ常任)、  
地区出向者挨拶

7月15日(金)

休会

7月22日(金) <第3例会>

夜間例会

担当：プログラム委員会

7月29日(金)

休会

### 【同好会】

書道同好会

7月1日(金) 午後2時～、

7月22日(金) 午後4時～

いずれも 於：4階 楓の間

### 【RAC 例会】

[檀原オークホテルにて、午後7時30分～9時]

7月6日(水) <第1例会>

所信表明

7月27日(水) <第2例会>

社会奉仕①

※卓話資料はデータでの提出をお願い致します。

## 花束贈呈

河村幹事に感謝を込めて、辻田副会長より花束が贈呈された。(森川会長はご欠席のため、郵送させて頂く。)

